

# 平成26年度学校運営計画書

学校名 和歌山市立野崎西小学校 校長名 小中 弘彦 作成日 平成26年 4月25日

## 学校教育目標

自ら学ぶ意欲と強い信念を持ち、社会の変化に対応して  
たくましく生きる心豊かな児童の育成に努める。

地域を愛し、地域を大切にす  
る子

自他の人権を大切にし、思いや  
りとやさしさのある子

自ら課題を持ち、自ら考えよ  
うとする子

### 開かれた学校

### ゆたかな心

### 確かな学力

|               | 開かれた学校   | ゆたかな心   | 確かな学力   |
|---------------|--|---|---|
| 本年度の重点目標      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や地域へ積極的に情報発信を行う。</li> <li>・地域の教育資源や人材を生かした学校教育活動を行う。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育活動全体を通して、道徳教育の充実を図り、生命や人権を大切にした教育に取り組む。</li> <li>・特別支援教育を大切にし、一人一人を大切にする教育を進める。</li> <li>・学年、季節に合わせた様々な体験的な活動を多く取り入れ、心豊かな子どもを育てる。</li> <li>・組織を大切にして全職員で全児童を育てる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本の習得を図り、基礎学力の向上に努める。</li> <li>・一人一人を大切にし、子どもが主体的に取り組む授業を目指す。</li> <li>・保護者と連携を取り、正しい学習習慣を身に付けさせる。</li> </ul>   |
| 目標達成に向けた具体的方策 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページを定期的に更新したり、「学校便り」を保護者や地域の方に配布したり、学校の情報発信に努める。</li> <li>・地域や関係機関の教育力を生かすためにゲストティーチャーのリストを作成し、学校教育に参加をしてもらう。</li> <li>・公民館と連携して、作品展を開催する。</li> <li>・公園の清掃を地域自治会と連携して行う。</li> <li>・和歌山大学から学習ボランティアを要請し、体力向上や特別支援教育に活用する。</li> <li>・学校開放月間での取組を広く広報し、一人でも多くの保護者や地域の方々に学校での活動を見てもらい、学校への意見を頂けるようにする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年に応じた道徳教育の資料の活用を行い、体験活動と道徳の時間を計画的、発展的に行う。</li> <li>・社会、理科、総合的な学習、生活科で学年に応じた体験活動を取り入れ、体験活動を通じて、協力することや思いやりの心を育てる。</li> <li>・児童会活動を中心に地域公園の清掃やボランティア活動に取り組む。</li> <li>・運動場の芝生が枯れている所が増えてきたので、新たに芝生を植えることで子どもたちが運動場で遊ぶ機会を増やし、体力と豊かな心を育てる。</li> <li>・教職員27人が子どもに豊かな心を育てるために組織的に取組み、全職員で全児童を育てる学校運営を定着させる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・若い教員が多いので、ミドルリーダーを中心にし、学年やブロックの組織で育てると共に校長や教頭も参加し積極的に授業を通じた研修を行う。</li> <li>・算数主任、国語主任を学力アップ担当とし、基礎学力定着のための資料を作成する。</li> <li>・基礎学力の定着を図るために毎日の「昼学」を計画的に運用し、有効に活用する。学力テストの過去問題や算数教材「kangae・ra」を積極的に活用する。</li> <li>・全職員が授業を通じた研修を行い、常に授業を通じた話し合いができる機会を作る。</li> <li>・現職教育等の機会をとらえて、子どもの学力の実態を把握し、全教職員が共通理解した上で学力向上に取り組む。</li> <li>・長期休業中を活用して全学級で基礎・基本の定着していない児童に補習を行う。</li> <li>・基本的な生活習慣の定着を図るために保護者に早寝早起き朝ごはんの啓発を行う。</li> </ul> |